

平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 オーネックス

コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大屋 和雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 鶴田 猛士

TEL 046-285-3664

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	2,988	6.7	387	6.6	386	6.6	211	△0.3
23年6月期第2四半期	2,799	32.7	363	—	362	906.1	212	473.6

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 192百万円 (△17.1%) 23年6月期第2四半期 232百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	12.11	—
23年6月期第2四半期	12.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第2四半期	9,024	5,025	55.7
23年6月期	9,110	4,885	53.6

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 5,025百万円 23年6月期 4,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,850	3.9	730	8.6	700	3.9	400	5.0	22.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年6月期2Q	17,631,600 株	23年6月期	17,631,600 株
② 期末自己株式数	24年6月期2Q	154,636 株	23年6月期	153,696 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年6月期2Q	17,477,465 株	23年6月期2Q	17,479,673 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況が続いている中で、緩やかに持ち直してきましたが、欧州債務危機などの世界経済減速懸念や、輸出関連企業を直撃したタイの大洪水、歴史的円高の長期化、電力供給の制約など先行き懸念材料が広がっており、景気の悪化懸念が残っている状況にあります。

このような経済状況の下で、当社グループは、生産性の向上に取組み原価低減を図り収益性向上に努めました。

こうした事業活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,988百万円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益は387百万円（前年同四半期比6.6%増）、経常利益は386百万円（前年同四半期比6.6%増）、四半期純利益は211百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金属熱処理加工事業

金属熱処理業界においては、3月に発生した東日本大震災によりサプライチェーンが分断され大きな影響を受けた自動車業界向けの受注が回復、建設機械、産業工作機械向け受注は順調な海外需要により堅調に推移しました。

こうした状況の中で、熱処理効率の改善による生産性の向上、人件費、修繕費など固定費の削減を進め、全力で収益の確保に努めました。

これらの結果、売上高は2,720百万円、セグメント利益は370百万円となりました。

②運送事業

運送事業につきましては、売上高が回復基調にある中、備車（外注）便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の効率化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めました。

これらの結果、売上高は233百万円、セグメント利益は27百万円となりました。

③情報処理事業

情報処理事業につきましては、営業活動を強化し、新規受注獲得に努めました。

これらの結果、売上高は33百万円、セグメント利益は14百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末比86百万円減少し9,024百万円となりました。

負債は、短期借入金の減少等により前連結会計年度末対比226百万円減少し3,999百万円となりました。純資産は利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比140百万円増加し5,025百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比較し240百万円減少し2,337百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は170百万円（前年同四半期は466百万円）となりました。これは主に売上債権174百万円の増加、法人税等の支払額274百万円があったものの税金等調整前四半期純利益383百万円、減価償却費219百万円などを計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は183百万円（前年同四半期は111百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得に155百万円、無形固定資産の取得に24百万円の支払いを行ったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は226百万円（前年同四半期は170百万円）となりました。これは主に長期借入による収入244百万円があったものの、短期借入金の返済200百万円、長期借入金の返済148百万円及び社債の償還149百万円などを行ったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年8月15日の「平成23年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,588,078	2,347,557
受取手形及び売掛金	1,909,640	2,084,158
製品	9,833	18,284
仕掛品	38,864	35,830
原材料及び貯蔵品	99,040	95,645
繰延税金資産	42,466	28,264
その他	198,692	184,643
貸倒引当金	△506	△558
流動資産合計	4,886,110	4,793,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	907,173	880,233
機械装置及び運搬具（純額）	687,449	721,796
土地	1,838,851	1,838,851
リース資産（純額）	99,082	108,108
建設仮勘定	79,452	50,994
その他（純額）	73,363	91,046
有形固定資産合計	3,685,372	3,691,030
無形固定資産	135,579	152,412
投資その他の資産		
投資有価証券	172,290	145,017
繰延税金資産	130,064	140,422
その他	101,473	101,935
貸倒引当金	△198	—
投資その他の資産合計	403,630	387,375
固定資産合計	4,224,582	4,230,818
資産合計	9,110,692	9,024,645

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	390,978	416,849
短期借入金	922,217	765,284
1年内償還予定の社債	298,000	298,000
未払金	304,657	249,478
未払費用	231,490	257,404
未払法人税等	285,018	167,969
賞与引当金	42,013	31,252
その他	199,695	242,062
流動負債合計	2,674,069	2,428,300
固定負債		
社債	567,000	518,000
長期借入金	540,393	592,446
退職給付引当金	294,093	305,741
その他	149,956	154,646
固定負債合計	1,551,443	1,570,834
負債合計	4,225,512	3,999,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,314,835	3,473,983
自己株式	△37,502	△37,667
株主資本合計	4,869,128	5,028,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,051	△2,600
その他の包括利益累計額合計	16,051	△2,600
純資産合計	4,885,179	5,025,510
負債純資産合計	9,110,692	9,024,645

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	2,799,394	2,988,318
売上原価	1,896,312	2,023,838
売上総利益	903,082	964,480
販売費及び一般管理費	539,749	577,300
営業利益	363,332	387,179
営業外収益		
受取利息	2,750	2,738
受取配当金	1,415	1,108
投資有価証券売却益	368	—
受取賃貸料	4,614	4,376
スクラップ収入	7,288	4,756
工場設置奨励金	4,361	3,831
その他	4,161	7,256
営業外収益合計	24,958	24,067
営業外費用		
支払利息	17,607	17,326
支払手数料	5,786	5,328
社債発行費	809	809
その他	1,193	1,016
営業外費用合計	25,396	24,480
経常利益	362,894	386,765
特別利益		
固定資産売却益	—	2,877
投資有価証券売却益	255	—
役員退職慰労引当金戻入額	2,165	—
特別利益合計	2,421	2,877
特別損失		
固定資産売却損	77	—
固定資産除却損	1,557	4,065
リース解約損	—	2,242
特別損失合計	1,635	6,308
税金等調整前四半期純利益	363,680	383,335
法人税、住民税及び事業税	168,758	158,021
法人税等調整額	△17,297	13,732
法人税等合計	151,460	171,753
少数株主損益調整前四半期純利益	212,219	211,581
少数株主利益	—	—
四半期純利益	212,219	211,581

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	212,219	211,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,582	△18,652
その他の包括利益合計	20,582	△18,652
四半期包括利益	232,802	192,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,802	192,928
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	363,680	383,335
減価償却費	219,336	219,715
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,937	11,648
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△80,899	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,454	△10,761
受取利息及び受取配当金	△4,165	△3,846
支払利息	17,607	17,326
投資有価証券売却損益(△は益)	△623	—
固定資産除却損	1,557	4,065
売上債権の増減額(△は増加)	△211,176	△174,518
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,570	△2,022
仕入債務の増減額(△は減少)	51,555	25,871
未払又は未収消費税等の増減額	11,509	△17,298
その他	146,488	3,041
小計	515,816	456,557
利息及び配当金の受取額	4,165	3,846
利息の支払額	△18,217	△15,379
法人税等の支払額	△35,309	△274,209
営業活動によるキャッシュ・フロー	466,455	170,815
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△77,197	△155,769
無形固定資産の取得による支出	△36,390	△24,593
投資有価証券の取得による支出	△1,222	△1,268
投資有価証券の売却による収入	3,511	—
その他	△438	△2,218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,736	△183,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△200,000
長期借入れによる収入	150,000	244,000
長期借入金の返済による支出	△234,109	△148,880
社債の発行による収入	100,000	100,000
社債の償還による支出	△139,000	△149,000
リース債務の返済による支出	△13,823	△20,465
配当金の支払額	△34,018	△52,068
その他	△10	△164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,961	△226,578
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,193	△908
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	182,563	△240,521
現金及び現金同等物の期首残高	1,618,642	2,578,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,801,205	2,337,557

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	情報処理事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,550,565	220,461	28,368	2,799,394	—	2,799,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	133,683	45,221	178,905	△178,905	—
計	2,550,565	354,144	73,590	2,978,300	△178,905	2,799,394
セグメント利益	336,836	22,788	13,920	373,545	△10,212	363,332

(注) 1. セグメント利益の調整額△10,212千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	情報処理事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,720,992	233,853	33,472	2,988,318	—	2,988,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	144,058	81,679	225,737	△225,737	—
計	2,720,992	377,912	115,151	3,214,056	△225,737	2,988,318
セグメント利益	370,246	27,219	14,208	411,674	△24,495	387,179

(注) 1. セグメント利益の調整額△24,495千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません